

■ 小田原市立国府津中学校  
(小田原市国府津)



国府津の困りごとを楽しく解決する



地域課題に向き合う

「1年生の頃から探究的な活動を行っているので、試したり、解決策を考え直したりすることには慣れていて「困りごとを自分ごととして捉えることが難しい」と、生徒たちはそれぞれの言葉で、これまでの活動を振り返った。

小田原市立国府津中学校では、よりよい地域社会を創る力を育てることを目標に、総合的な学習の時間で、地元が抱える課題に向き合い、既成概念にとらわれない発想で、解決に向けた取り組みを行っている。地域の方々との交流活動も行い、異なる意見や物の見方、他者の考えを受け入れることなどを大切にした活動を行っている。

この日、3年生は「国府津の困りごとを楽しく解決するプロジェクト」をテーマに、1年間の活動の締めくくりにして、地域のイベントを手掛ける会の代表者を招き、発表会を行った。誰でも「ミニチュ

ープは、「年代を問わずに集まる場所を作りたい」「ゲームを通して価値観を共有するよさ」を伝えたい」と語った。

また、国府津の海をきれいにして楽しめる場所にするために、ビーチクリーンで回収したごみと商品を引き換えられるイベントを提案した生徒もいた。実際に浜辺でごみを拾い、地元の海をきれいにしてよつとする生徒の顔はとても生き生きとしていた。

この活動を通して、何度も地域の方と議論を交わした生徒たちは、「地域の方からフイードバックをもらったび、自分たちやクラスの仲間にはない新たな視点に気付くことができた」と話す。

これまで3年間継続してきた探究的な学びの中で得た、物事を楽しく解決しようとする生徒たちの思いは、これからの未来を生きるための大きな糧になっていくだろう。

ニケーションができる環境が

(写真) 実な教室か



神奈川県教育委員会では、学校、家庭、地域などにおいて、子どもが大人と一緒に「いのち」に関わる中で、感じたことや考えたことを書いた作文を募集しています。「いのちの授業」の取り組みは左記QRコード参照。

いのちをつなぐ10周年  
いのちの授業大賞